



アクティビティ

『芋ほり大会』

花畠特別委員会 委員長 L中瀬充二

今年も花畠で青少年健全育成事業の芋ほり大会のアクティビティをする事を決めました。2014年10月11日(土)蒲郡マリンLC花畠 市立南部保育園・府相保育園・中部保育園・親子の皆さんのご参加と、つつじ寮・育成会・花フル会・いきいきビーンズの団体のご協力をいただきまして250名程のご参加で盛大に開催する事が出来ました。

この芋ほり大会の事前準備が大変であります。メンバー全員の労力奉仕より芋を育てるのに多くの時間をかけ、草取り、床作り、芋苗植え付け、ツル切り作業をして、当日の芋ほり大会には焼き芋300本を作り参加者全員に食していただきました。大変喜んでいただき、楽しい親子参加の芋ほり大会でした。これがライオンズクラブの労力奉仕のアクティビティであります。今後もこの芋ほり大会を継続して行ければ良いと願いました。



『記念樹に思う』

環境委員会 委員長 L小田倉平



当クラブは2011年度から環境保全事業として竹島ベイパーク一体を花と緑の公園にしようと計画を立てた。

初年度はベイパークの北側へ『寒緋桜』を植樹、2012年度は『マテバシイ』を2013年度は25周年事業として、マリンの花畠周辺に『ソメイヨシノ』他を50本植樹した。今年度はマリンの花畠のシンボルとして樹齢30年の大木『なんじゃもんじゃ』の木を植え、5月には見事開花した。

こうして環境保全事業も4年を経過し、ベイパーク周辺が少しづつ緑化されてきました。5年10年後には竹島ベイパーク、マリンの花畠が緑豊かな公園となり、市民、観光客の憩いの場所となる事を夢見つつ、この事業を継続して行きたい、



『くすの木福祉まつり』に参加して

社会福祉委員会 委員長 L 小田洋嗣

今年24回を迎えた大塚『くすの木福祉まつり』が今年も11月8日に盛大に行われた。当クラブも最長継続事業として、例会を兼ねて参加した。9時集合10時より各自分担し、売店の手伝い、募金活動、障害者とのふれあい等々、福祉活動を行い、11時30分ひまわりホールにて河合つつじ寮長をゲストスピーカーとしてお招きし例会を行った。

午後は福祉まつり最大の呼び物、餅投げ大会を当クラブ役員が、やぐらの上から盛大に投げ大勢の人々に喜ばれ無事終了することが出来た。

この事業には毎年大勢のメンバーが積極的に参加し、ライオンズクラブのモットーである“ウィ・サーブ”が出来ました。本当にありがとうございました。



『薬物乱用防止教室』

青少年指導・薬物乱用防止委員会

委員長 L 鈴木 孟

『薬物乱用防止教室』も10年を越えて年度計画の中に取り入れて下さる学校も増え、子供達も興味を持ってくれているようです。

麻薬等の話は幸いな事に、まだまだ身近な問題でない生徒がほとんどでしょうが、もし誘いを受けたら、自分自身で向き合い、自分で決断していかねばならない重大な問題です。大人への一步を踏み出した彼等、彼女等にとって、自分に直面する大きな問題に、自ら向き合い、自分で考え、決断し、歩み続けることは大切です。『薬物乱用防止教室』が自分の力で考え、行動するという大切な大人へのステップを生徒達に与えることが出来ればと考えています。本年度は塩津中3年287名、東部小6年47名、西浦小5・6年69名、塩津小6年86名の4校で“教室”を開催致しました。各校の生徒達からたくさんの感想文をいただき、真面目に、正面から考えてくれていることに喜んでおります。





趣味部会活動報告

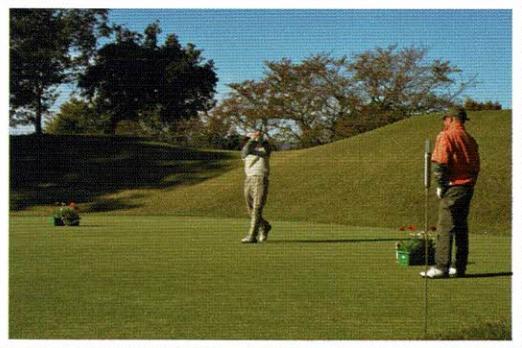
MLG部会



部会長 L 夏目憲行

昨年と今年の2年間、部会長を務めさせて頂きました。ライオンズクラブも高齢化の影響で、ゴルフをする会員が減少し、開催しても1組・2組しか集まらない状況でした。昨年同様に他クラブとの合同コンペを11月・12月・3月に行い、9月は恒例になった姉妹クラブの飯田赤石ライオンズクラブのチャリティーゴルフコンペに参加し、他クラブとの交流を深め、又、2月には海外遠征で台湾にて6名の参加で2ラウンド、ゴルフをする事が出来ました。

6月最後のゴルフは名門コースの浜名湖CCで快晴のもとでゴルフコンペを行い、部会員皆様のご協力により、無事務める事が出来た事に、感謝申し上げます。



釣り部会活動報告

部会長 L 鳥居憲臣

釣り部会は、飯田赤石LCのメンバーと一緒に3月の潮干狩と7月三河湾のシャコ取りを実行しております。その他、日間賀の船頭さんの船でスズキ・真鯛釣りをしております。今回は2014年7月31日、飯田赤石LCのメンバーと一緒にシャコ取りをしました。当日は天気に恵まれ風もなく大漁でした。マンガン漁は船で海底を20分位、大きな鉄のつめでひっぱり砂地に眠っているシャコ・カニ・エビ・タコ・カレイを漁します、これも船頭の腕次第で量も決まります。今回は大漁で、たくさんの土産が出来ました。昼は魚市場で昼食をとり、それぞれ楽しみました。毎年思いますが年々地球の環境も変化しており、小さなアピールかもしれません。残された資源大切にしましょう。



趣味部会活動報告

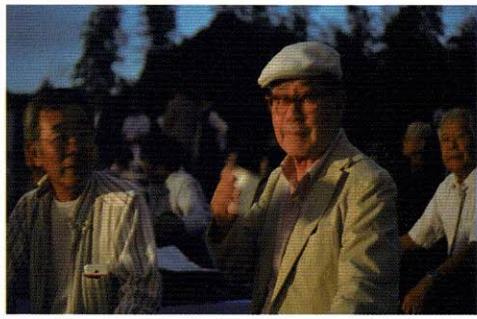


放談部会

部会長 L 小田洋嗣

今年の放談部会は家族皆で食べて、飲んで教養を高め、お互いの親睦を図ろうと企画致しました。

毎年恒例の花火大会を皮切りに、東栄町の花祭り見学、初夏の佐久島散策など、9回の事業を実施し、計169名のご参加により盛大に事業を終える事が出来ました。皆様のご協力ありがとうございました。来年度も部会長を務めますのでより一層のご協力お願いします。



- | | |
|---------------------------------|---------|
| * 7月20日 花火大会 | 参加者 56名 |
| * 9月4日 市議会傍聴 | 参加者 9名 |
| * 9月7日 観月会 | 参加者 11名 |
| * 10月11日 蒲郡競艇観察 | 参加者 11名 |
| * 11月1日 東栄町花祭り見学 | 参加者 21名 |
| * 12月17日 忘年会 | 参加者 8名 |
| * 1月24日 ニューカラーアソシエーション
を奏でる会 | 参加者 16名 |
| * 5月10日 佐久島散策 | 参加者 15名 |
| * 6月6日 総会 | 参加者 22名 |



ライオンズの歴史と活動について

ライオンズクラブは1917年6月にアメリカ・シカゴの青年メルビン・ジョーンズの提唱により誕生し、2年後には100周年を迎えます。日本では1952年3月にフィリピン・マニラライオンズクラブのスポンサーにより東京ライオンズクラブが出来たのが始まりです。LIONSはそのスローガンである Liberty, Intelligence, Our Nation's Safety (自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全を図る) の頭文字から取った名前で、モットーは We serve (我々は奉仕する)、そしてライオンズの誓い「われわれは知性を高め、友愛と相互理解の精神を養い、平和と自由を守り、社会奉仕に精進する」に従って活動しています。その精神は世界中の人々の共感を呼び、現在では世界210の国に、46,863のクラブがあり、会員数は1,408,492人と言う世界最大の奉仕団体となりました。よく同じ社会奉仕活動をしているロータリークラブと比較されますが、ロータリーが職域や個人で活動をしているのに対して、ライオンズでは異業種の個人のチームワークを發揮して行うことにより有意義な効果をあげるように組織された団体で、基本は金銭アクトよりも労力アクトに重きを置いています。日本では8つの複合地区、35の地区に分かれ、3,161のクラブがあり、124,672人の会員がいます。当蒲郡マリンライオンズクラブは334-A地区(愛知県)の2R(東三河)の2Zに属していて、蒲郡ライオンズクラブのスポンサーにより、1989年(平成元年)5月7日に誕生しました。1993年には海と山の交流を図る目的で、飯田赤石ライオンズクラブと姉妹提携を結び、毎年潮干狩り、マンガン漁、リンゴ狩などで交流を続けています。

ライオンズクラブの活動は広範に渡りますが、現在力を入れているものとして、高齢者福祉対策、障害者対策、献血・献腎・献眼・骨髄移植推進、聴覚障害者対策、青少年育成(ライオンズクエスト事業など)、薬物乱用防止対策、環境保護対策、社会福祉対策、国際協調、YCE (Youth Camps and Exchange 青少年海外派遣及び受け入れ)などがあります。またLCIF (Lions Clubs International Foundation) と言うライオンズクラブ国際協会が作るライオンズクラブ国際財團への個人的な献金を通じて、視力保護、青少年育成、災害援助、人道奉仕などに貢献しています。クラブの活動については、そのクラブの裁量権が大きく認められており、毎年交代する会長・幹事・会計の三役と一年理事・二年理事で構成する理事会で方針を決定します。また、活動の立案・実施をするのに6つの運営委員会(GMT・GLT委員会、計画委員会(姉妹提携含む)、出席・大会委員会、財務・会則・附則委員会、PR・IT委員会、FWT委員会)と5つの事業委員会(社会福祉・環境委員会、五献推進委員会、青少年指導・薬物乱用防止委員会、LCIF・YCE委員会、花畠特別委員会)があります。会員・家族の親睦を図るのもクラブの維持に重要であり、3つの趣味部会(ゴルフ、放談、釣り)があり、家族同伴の企画(クリスマス家族会、夏季家族旅行など)も実施しています。会員には正会員以外に、終身会員、優待会員、家族会員があり、正会員の一番の義務は月に2回の例会に出席することで、やむを得ない理由で出席できない時には別のクラブの催しに参加してメーキャップをします。次年度の国際会長となられた山田實紘の呼びかけで、家族会員も増えており、現在当クラブには9名の家族会員がいます。

(PR委員長 竹内元一)